

令和5年度府中市立府中第四小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①一人では間違えた個所をやり直すことが難しく、分からないところがそのままになっているため、基礎的な学力がなかなか身につかない。
- ②交流場面や小グループによる話し合い活動では積極的に参加できない児童が多い。
- ③既習事項を使って正しく学習したり工夫して学習したりすることができない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①漢字の成り立ちや計算の手順などは暗記に頼ることが多く、基礎的な学習を定着することが難しい。
- ②自分の考えを適切に表現できず、活発に交流することができない。
- ③基礎的な学習が中々身に付かないため、既習事項を活用して適切に解答することができない。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①問題の意味を考えたり友達や教師に尋ねたりしながら、学習に根気強く取り組む児童。
- ②友達と交流するよさを味わい、互いの考えを高め合うことができる児童。
- ③教科書やノートを振り返りながら、習ったことや考えたことを活用して自分の考えを適切に表現することができる児童。

(2) 目指す授業像

- ①漢字の成り立ちや計算の意味を考える活動を増やし、基礎学力の定着を図る。
- ②話し合いの観点や話し合いの仕方を指導し、一人一人が自分の考えを表現できるようにする。
- ③ノートを振り返ったりサイドラインや図、表、グラフを使って工夫して学習したりして、児童が自分の考えを適切に表現できるようにする。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	国語に対する関心を深め言葉を豊かにし、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語を尊重する態度を育てる。	音楽	表現や鑑賞において一人一人が自分の考えをもち発信できるよう、児童の表現や発言、反応を繋げたり共有したりする機会を増やしていく。
算数	算数の学習内容を生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させ、スモールステップで習得、習熟を図りながら「わかる」「できる」を児童に体感させ、算数を学ぶ意欲の向上を図る。	図画工作	表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、創り出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
社会	単元を通した学習課題を児童の言葉から設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本とする。	家庭	体験的な活動を通して知識・技能を獲得させ、その振り返りを行うことで思考力・判断力・表現力を育て、学びを生活に生かす自立の基礎を養う。
理科	自然に親しみ、見通しを持って観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物、現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。	体育	活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、基本的な動きや技能を身に付けさせ、体力を養う。
生活	学習活動の際に、活動・観察の視点を具体的に与えたり、自らの気づきを言語化するための手本を提示したりすることで、学習活動の思考・表現活動の充実を図る。	外国語	A L Tを交えた活動を充実させ、学習の振り返りを行う。学んだことやこれから学びたいことなどを明確にする。学習した内容は繰り返し行う。

令和5年度府中市立府中第四小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

（2）児童用タブレット端末の活用

- ・イメージマップを作ったり考えを分類したりする。（ジャムボード）
- ・実験や観察をより正確に行ったり、運動技能の習得を確実なものにしたりする。（カメラ）
- ・インターネットで調べたことや考えたことをまとめる。また、まとめたものは後日見返したり発表したりして活用する。（ドキュメント、スライド）
- ・交流活動の充実を図る。（ジャムボード、クラスルームのストリーム）
- ・アンケートを実施して友達の意見を集めたり、学習の振り返りをしたりする。（フォーム）